

播磨南高生が町議と意見交換



播磨町議と町の活性化に向けた意見を
交わす播磨南高校の生徒ら＝播磨南高
校

子育て支援策など提言

播磨南高校（播磨町古宮4）の地域デザイン類型に所属する2年生が、同町の

課題について調べ、同町議に町づくりの提言を行う「地域デザイン授業」に取り組んでいる。12月は町議らと「不登校の居場所作り」や「子育て支援」などをテーマにした意見交換会を開いた。

同校によると、10年ほど前までは播磨町在住の生徒が半数近くを占めていたが、現在は8割の生徒が周辺の地域から通学しているという。学校のある地域を

知ってもらおうと、今回初めて実施した。

9～11月に生徒約90人が24グループに分かれて、提言のテーマとなる課題をフィールドワークや住民、町職員らの聞き取りなどから探った。高大連携校の**兵庫大**（加古川市平岡町新在家）の教員が生徒らに調査方法や提言内容について定期的にアドバイスをした。

同校で今月1日にあった議員13人との意見交換会では、8グループがそれぞれ「防災」「子育てイベント開催」「ジェンダー」などのテーマについて、グラフや写真、アンケート結果を示しながら、対策を提言した。発表内容について、議員からは町の現状や対応について解説し、生徒からの質問にも答えた。参加した議員は「目の付け所がよく、若者ならではの。こちらが気づかされる部分も多々あった」と話した。

1月に残りの16グループが町議との意見交換会に臨んだ後、2月に校内発表会で、まとめた調査結果を報告する予定という。2年の高木奏さん（16）は「調べていても分からなかったことを直接聞けたことが興味深かった。（議員から）聞いた話を発表に生かしたい」と語った。（宮崎真彦）